に之より自活す

偵察の上具体案を作成直ち

現存するものに付婆すれば(7)建築用調査

したり。之より先、親見軍団タ人殖地たる水製鎖に到着

三月二十日先遺跡の諸作業 の下に本が自争数及第一中 の下に本が自争数及第一中 の下に本が自争数及第一中 が開えなく本職も連絡長若 が開えなく本職も連絡長若

の見込を以て計道路商整を 食顔間は豫算的五、六馬圓 前信連絡に付ては農耕地し を以て投稿し佳本斯永

を偵察し獲得方法を研究す薬樹林、其他飛地農耕地等適任者を以て炭田。石灰、剣

(10)食糧品の現地調修(11)家畜の蒐集 右の使命を帯びたる先遣論 は熊谷大尉指揮の下に歩兵 二小論、歩兵砲一小師、重橋

(4)富丽國査

並に概况

自衞移民計

百名を代表して現在の加き事人殖地到着後に於ける先遣人殖地到着後に於ける先遣

| (東京廿一日観話飲會後、荒川は二十一日間話飲會後、荒

き感読し、その後左の談話を 取第二次補充計者の重要性を 取第二次補充計者の重要性を

炭。石灰、煉瓦の製造等を 発用材の伐採に入り或は新 楽用材の伐採に入り或は新

大殖後に於ける方針さして は職員を農耕、建築の二班 に大別し本年は四種五十町 かの耕作さ五十戸の個人家 を得一戸十人の集團生活を を得一戸十人の集團生活を を得一戸十人の集團生活を を提出するあるを以て八月 頃に至り農作物の成熟見込

さ共同心理が貢献に努力せき関係をでも減刑事を受が引機を

贈

商取引で非常な盛況であつたで異の形を終了、本年は提来で連の部を終了、本年は提来

領洲輸入組合聯合會主催の第

が、二十一日緒に不平爆使しば、二十一日緒に不平爆使し

で陳情したもので、別立事務 いても労躍して欲しい いても労躍して欲しい

陸海軍協力

豫算貫徹に努力する

真淵、澤田。建部三副事務官

滿洲見本市 廿八日から開催

執つてゐるが、事務所開股當院貸金組は大連中央郵便局內院貸金事務所を設け、事務を以び、事務を

遂信局に引揚沙礫井間長に財務部長に別れの言葉を残して

特帯が憂慮されるさ、この奉 一行名の親(限り給員千五百の

遞信系四十名は引き揚ぐ

河東韓塔に勢役中の鮮農は現

電信電話

會祖

遞信、滿鐵兩派對立

仕六百戸約二千五百人であ

を完了した改正議別國際入税執政の裁判を評一切の手科会

副署を得たので廿一日公布、割は邸穂理。熈財政邸穂長の

本天春日町 本天春日町

三井、三菱

がメラッ

人は

港主義採用

陸路は通關屆出での時を 用時間で定める事に決定した。船舶が入港屆出答を税職に提出したる時を以つて何れも新職税適ので、又 新關稅率適用時に

つた〇〇郎の関査部間長吉池「大連仕」日最初最計画地間査に向 農耕適地調 查班廿七名 大連へ歸る

を解いたが園長吉池氏は語る 五月廿六日率天通藩 34歳を 第句、永甸坡、長何河口、 東東、大東溝、超王廟。大 東東、大東溝、超王廟。大 東東、大東溝、超王廟。大 日振りで自衛的武な服の旅装時世分署列車で来源、五十五

日滞在の上大体の結果を構め で考慮されやうが我々の問 で考慮されやうが我々の問 京に赴き報告後京城へ隣り

深井全權 歐洲歷訪九月

東部線河東の

鮮農水田農場好成績

今秋の收穫米二萬四千石

がの太平

見込、深井氏はカナダの太全権の歸京も九月下旬さな 洋質量には用席しない

調査の目的は所謂農耕適組舞 むる旨訓電を發したので深井 省は、深井全権に對し、石井 で東京二十一日 4 記通〕外務

が愈々来る二十八日より三日 なつた、全帆各組より出席の 代表的選出領商は九百四十三 名(内華天六百七十一名)で 大連に優る盛化が難想されて 居る

なかつたので、今回は其の一名べき調査が全級行はれて等 楽此の種の観音は 英国づし寄附の申込みかり、が、三井、三菱埔家より五十 投費に百五十 英国を募集中だ 十萬圓寄附 「東京世 日 最調通」八月九 「東京世 日 最調通」八月九 向ふ五ヶ年間毎年十萬週づも 防空費に各五

武藤軍司令官

福東縣事務檢閱のため潛版中 の武職編集軍司令官は萬城目 中後七時五十分着列車が時任 中後七時五十分着列車が時任 小磯参謀長以下開東軍。大使 邸に人つた

やうな低い酸で

印度代表へ 外交內涉權附與 意を表示 英國遺憾の 0

「東京化一日登昭浦」松平駐 英大使建外務省着北によれば 英大使建外務省着北によれば 英大使建外務省着北によれば 英大使建外務省着北によれば 東大使建外務省 に堪えず遠からず何分の措置大故、未決定なるは遺憾 外交々渉横附與問題は外務



日

ひよつとしたらさうちゃないかとれ 際別してるたことだつたが、しか 院院は、海球点といふある大きな 病院は、海球点といふある大きな 病性のであるが、 気を付けないといけませんよ』 といひ置いて聞つて行つた。 がありません。まあ、鬼に角よくかしそれも出來ないとすれば仕方 それは純子がもう可なり前から とれを考へると質に設しい。とれを考へると質に設しい。
か さう言ひながら駐太は駒方の目が だに一杯源を浮かべながら、 だこ一杯源を浮かべながら、 でるでくれ。それはずるぶんぱかでるでくれ。それはずるぶんぱか はちやんと自分で自分の簡が解っ あるんだ。

僕は肺絨だよ。

それ かなり緘黙が進んでゐるらしい んだ。関はもうぢき死ぬよ。そ とも、僕はよく 知つて 低于

なかつた。で、精子も唯総教の観女なかつた。で、精子も唯総教の観女のでが、今般者りとは知らなかつたのだが、今般者りとを覚悟されて見ると、何だか紙 はんやりそこに立ち載してゐた。 はんやりそこに立ち載してゐた。 ひを持つただけで、はつきりさうの渦の中に立つてゐるのを見るよかった。で、和子も唯語核の観女優になつて、いろんな男の跳紋なかつた。で、和子も唯語核の観女優になつて、いろんな男の跳紋なかつた。で、和子も唯語核の観女優に動んでみるつもりだ。そんなこがし続いといふ位のことで、能聴に動んでみるつもりだ。そんなこがしまれ が名も冒はずに唯感冒で気管支も 製切で名画かつたから、ろくし、 が紙を持つてお前松木のまへ行つてかほんとに続むのほからおれの手 れないかし いるっとがない きっと明年に、純子の日か

別は、国網散會後だの加く語

海相ご會見後

陸相語る

ても深い話はなかつた。滴しても深い話はなかのた。滴していい。

数は正式の話はなく何時行

新京ピル内空室あり

行

切責機の多忙に大用機の態で 十名に引張けられ、株募集権 (六十四) 口 を碎 (高根秀浩書) 業無断上映上演

では、しかし来て見れたのはもう十た。今朝方から吹き出した風が、 を吹が明けるのを得ち載るやうにで、和子は始めて氣が付いするで、一般子は留者を呼びに行ったにしづかに様子殿を上がつて行っている。 でが明けるのを得ち載るやうにで、和子は始めて氣が付いする。 を立つたが、樹子段の下まで来る つたかと思ふと直に目を覺ましてのが、しかし來て果れたのはもう十た 目を置ました。そして舞者の訳く地で、 とすぐに天 既事をしてゐた。 何うしても深い眠りに落ちること ことにも、かなりはき 見えた。で、すぐに備へ寄つて、配子の目には何だかひどく恰めに のまつて、熱に混んだ目ですつと 人はその中で汚れた木綿布圏にくの中まで炊つぼくなつてゐたが駐 「お呼びになって 井の方を見詰めてゐた。 い他めに それが

送つて來た純子に向ってさい 「おい、魔者がお前に何か言つた 一の方を向いて、 歌つてるた。 が、暫くすると批太は不意に続 と言つて歌いたが、しかし胜太

れてゐて、もう病気は第三期までしてれてゐて、もう病気は第三期までしている。 性んであますよ。若し何なら戦地 なさる方がいると思ふんだが、し 純子がさっ冒ふと肚太は睨める と探るやうな調子で歌いた。 うに、味の顔を見詰めて、

シェパート種中犬 黒色の 四ヶ月に二十日午食八時頃流星町時半官舎方面に会け失踪を見が知の方には金二十周後 三宅牧場內 增

土地、家屋賞賞並に仲介生宅、結婚右親のに御経が原室町二丁目一番地のかります。 に大割引 日本員・八香地 神髪 ひか (美容藤 電話三二九四番 電話三二九四番 電話三二九四番

電四八八四番

廿二日より

廿七日まで

五九

時時まし

でり

電話三八一〇番記町三丁目

自免き費か! 電が指くかするか! のでは切するか! のでは他がするか! をおいる。 のでは、 のでは、

職運株

命

百

命衰般

いか? 何歳の時か結婚によ いか?

婚

9

時

相機養愛題

大阪朝日新聞 大阪毎日新聞 評の

生

命

金華堂へ Ø 至急讓店

造 金 銀

東二條明0世五 高價買入 ね犬

H

日

案內

神中込みは『話三三〇〇香神中込みは『話三三二〇〇香神中込みは『話三三三〇〇香神風神神

會

講演會

新京祝町二丁目

太子

堂

電話三八一〇番

開 運 指 導

D

演題 講師 廿二日午後七時開會 性相學者 性格解剖學 H 聖 (入場無料) 先 生

悩み迷はず にワカル する勿れ 今すぐ來れ好機逸 成功者の裏には必ず豫言者

性哲學界 學権威 來

長野商會 鑑定場所

外交員入用 能人有る方履態者送附 博多屋辩支店 資洋行自轉車部 心然保管確實 祝町一丁回七2二

大阪堂ピルド於ける 觀相實况 歴定は秘密

響するかて 日聖先生御滯泊(新京中央通り)

气 仙台 大阪

日空園

京都河原町荒神口宮

錢、長期原株は四圓九十錢安の百八十六圓二十錢に暴落落した外、長期は鐘紡三圓二十錢安の二百三十二圓三十期新東は昨日後塲より、二圓九十錢安の百九十三圓と暴の思惑反動で內地市塲も前塲より一齊に暴落し、後塲短(東京二十一日發國通)東株市塲はアメリカのインフレ(東京二十一日發國通)東株市塲はアメリカのインフレ

邦品の進出を妬み

各國阻止運

(ロンドン二十日後端当)二十日の英張下院で保守議議員レベー氏は英徳品に對する日本の構業並に綿業の競爭が益本の構業並に綿業の競爭が益本の構業並に綿美の競爭が益本の構業並に綿美の競爭が益本の構造出した。指摘した、古に以上敵母、盛にわが殖民地にと進出した。指摘した、古に以上敵母、盛にわが殖民地にと進出した。首に対する日本品の輸出は八割と成母した。首は、「大会教」とは、「大会教」とは、「大会教」という。

が不成功に終つた場合には
近くけばれる日本さの交渉

印度政府から

不當廉質防止を提議か

北鐵第六次會商は

來週に延期さる

排日策の徹底に腐心

するは不合理だ、然し若しむてゐる諸城に對する關稅

業上常職上の問題であるさ を示すものではなく単に府 を示すものではなく単に府

=その排斥の概要=

日本品の競甲は全く特殊で

理 本常業者に不常藤質防金問題 権して排日類を徹底さす方針を 業保障法實施に難し、報告を そのて日印変沙不成立の強切を 第二によれば、印度政府は重 な武器にせんさの方針である (東京世一日麓副畿)外務省 を提案し、對日変沙への有力

十月一日の道商俗約の識明

をして對立版和!、評價問別 (東京二十) 日登城市) 北線 に

樂飲暖

請開戦説は度に修はる、 □

レ景氣の對内修止明条さみて米詞結株一臂に削落。インフ

その日し

脳リ兩國とも順重

の情勢さならんさする有様で もる。而して商工省乃至當業 情果の投資を防止し、産業税 側の必要を循惑しつつあるが 中番外頭に於ける本邦品排斥

するには個めて不充分であり、英波の所氏地に對するので別個に處理せればなる

十九百七千三

煽りを喰つ

果株市場も

商品株式高は専

き找日銀常船は

り景氣の對内修正期來か 般は樂觀視

ク生糸は五仙安。シ最近やや頭打ちの問 (東京二十一日發國語) 安、シカゴ小麥十五仙安ステール株六弗安を報じ弗價の騰貴と共に所 観あり二十一日人電のニューヨーク棉花は八十仙安、ニューヨー フレ期待に昂騰の一途を辿って來た米國諸商品市場は

こま更に米國のインフレ策を刺戟するものと観られ、物價高の形勢を强化する米 國政 府の大方針が回の弗の反動が英國側の爲替政策乃至歐洲金本位ブロツクの作用を反映した他動的原因だとすれ ばてゐると傳へられ農村救濟法と產業復興法の本格的實践は今後愈々表面化せ んとしてゐる、もし 今は產業復興法によつて許容されてゐる三十三億弗の公共事業豫算を以て經綸を行はんと 决 意を固め 産業界方面では今回の商品相場の軟化は小浮動に過ぎず、米國インフレ景氣はむしろこれからと 見産業界方面では今回の商品相場の軟化は小浮動に過ぎず、米國インフレ景氣はむしろこれからと 見産業界方面では今回の商品相場の軟化は小浮動に過ぎず、米國インフレ景氣はむしろこれからと 見産業界方面では今回の商品相場の軟化は小浮動に過ぎず、米國インフレ景氣はむしろこれからと 見 確固たる今日米國に於け 之は更に米國のインフレ策を刺戟する は更に米國のインフレ策を刺戟するものと観られ、物價高の弗の反動が英國側の爲替政策乃至歐洲金本位プロツクの る物質株價の下落よ 暴落 りくまで 陶磁器

日銀當局 レ强行上の 一活動

三。漆

る本邦商品。

グの有無調査中の本邦品、 目下間税審議會でダンピン

(ロ)最近個税引上けられた

これ6の一野々落は生産物の過剰、物質の行き過ぎのの過剰、物質の行き過ぎのの場果たる一及動に過ぎのの場果たる一及動に過ぎのの過剰、物質の行き過ぎのの でからることは大鷲的なる 情果たる一度動に過ぎぬの の過剰。物質の行き過ぎの の過剰。物質の行き過ぎの の過剰。物質の行き過ぎの は果たる一度動に過ぎぬの は果たる一度動に過ぎぬの の現經濟政策の改變を増 をで、之亦一時的現象に通 をで、之亦一時的現象に通 をで、之亦一時的現象に通 をで、之亦一時的現象に通

ン吊。 断下山

スリルク等の開税を引上け最近人絹及綿布、コンデン

日發國通)在チタ領事より當地に達せる

に行はれてゐる

常出統制が緊要 くである、又最に残っ

當業者間

0

戰區接收

行は極めて頻緊

(東京廿一日發國語) 外務省 順調に進行

建動に関したの加含意見をローングを云々して攻破するも常島は列線の我商品進出阻止 列盧が日本の園安及ダンビ(東京廿二日醴製頭)我外務 明した

平絹綿製品

英國各殖民地進出

下院で重大視さる

側安を利した投賣者禁物

股同及び唐紹銘は後收置の縣による戦闘接收は。其後顧問で、支那側接收委員で、大郎側接收委員

長さ会安局長さを昏睡し。 では の信果、本日より軍隊の撤収 の信果、本日より軍隊の撤収 を開始した

義勇軍の旗頭 石友三氏來京 一兩日は新京滯在

日支船調の熱心なる提唱者で ・ 日支船調の熱心なる提唱者で ・ 日支船調の熱心なる提唱者で ・ 日支船調の熱心なる提唱者で ・ 大切のであるは季天漁牌脳病 ・ 大切のであるは季天漁牌脳病 ・ 大切のであるは一大口の水源は ・ 大切のである此の土 武田氏石氏の心境を語る 表制に過ぎず過軍が平総治線 停説の如きは一毛の價値なき

近同地に於ける赤衞飛行隊の夜間訓練飛去つたが右はダウリヤに向けるもの。如衛軍では十三日偵察機二十機を三機編隊 問題は今や全く国朔解決の見

なりしる玉祥の は既に南京に向け武力討伐のせるものさ思惟せられる。黄 せるものご思惟せられる。黄政権さの安脇交渉は至く決裂 一代表一 440天津 北平各要人さ折衝中

世代を駆明するさしても戦事 対れし蘆倉隣で教介石、汪硝 がれし蘆倉隣で教介石、汪硝 の意見一致を見れば黄を して一勝日本町の諒解を求め た上討伐陽島の運びまなるで あらう。時期は不明なるも孫 の変中さ多大な編録あり 関英の窓中さ多大な編録あり 宣化、下花園附近に堅固なる 東地を構築せるは事質にして 東地を構築せるは事質にして 東地を構築せるは事質にして が最終可に移動し、第二軍 の方提武は提案口、宣化に在 の方提武は提案口、宣化に在 の方提武は提案口、宣化に在 の方提武は提案口、宣化に在 に在る人、その先頭部除さ下 花園の保良融部除さの間は約 五里に接近しあり、平標設置 行狀態は中央軍の電階輸送及 び編軍の倫関に遭ひ連日選延 して十八日北平算提案口に向 へる元補履艦託森島供房氏の である。層軍主力 の距離は尚相當あるを以て裏 さ一安心 づれが勝つ

連載なる具體的情報はない 「は自然なきものの如し、 の以外良質なきものの如し、 のは解析の点相倒れを待 のはのがはない。

式動行可任候 道而二十五日午前四時職 町大正 寺 二 終テ告別

昭和八年 七月廿一日 友人總代 年嗣子 健 伀竹 島 花

偵察機廿機ダウリヤに向ふ さるがは節柄北支政権の黄郛 と三十支里の地點に居住する。 は原敷の整理及領京より吉林 中で未当元の祭哈爾復嗣を固執 が、これによるご馮は龍しま 明の姿勢で双方共衝突不可遜 が、これによるご馮は龍しま 明の姿勢で双方共衝突不可遜 で来当元の祭哈爾復嗣を固執 で本当元の祭哈爾復嗣を固執 で本当元の祭哈爾復嗣を固執 と観信し、河北軍の北上阻止 を破壊し、河北軍の北上阻止 を破壊し、河北軍の北上阻止 を破壊し、河北軍の北上阻止 る様になるかも知れない。 の成治的職保はない。 鬼に角石氏は吉林省の生れ 馮玉群、 察哈爾復歸を固執 兩軍の衝突不可避

開戦說行は

演習を行つて居ると當地方住民間には滿第一陣地を構築中である、又外蒙方面にチタ以東のボルジャ河に陣地を構築し且日發國通) 確實なる筋への情報によれば

中央軍と馮軍第一線 五里に接近す

察哈爾問題遂に交渉决裂か さかにさは思ふるのと動きは

清戦で個人の經濟戦果してい み、列論組止運動、劉家の經 出来の經 日本の選出を新 鏡の結果、陰症さ决定、ネフドキッさ水たコレラ騒ぎ、瞼 A 100 金金公司公司

★排動的 票 大样對的 票 我大样對金票 我大样對金票

▲武廳軍司令宜二十一日中後

人事往來

侯 大致候間此段御通知二代へ謹 告仕 大致候間此段御通知二代へ謹 告仕 大野 大勝二十分新京滿鐵醫院 二於テ死 東安線署勸業處長 職四郎儀 豫 テ病

馬占山遂に 隠棲を決意す

によるより

を感じ抗日運動打切りを撃明し職後を決意したこでは一十一日登職通り、脈州より精戦後各方面の繁迎を「上海二十一日登職通り、脈州より精戦後各方面の繁迎を「上海二十一日登職通り、脈州より精戦後各方面の繁迎を

張家口郊外に 赤立飛行塲

【奉天廿一日養婦通】去る十一路人)の提供を受けたので張りの以下がつこめる場下詳は、これら飛行機は同地方上空を整をあけつこめる場下詳は、これら飛行機は同地方上空を整をあけつこめる場下詳は、これら飛行機は同地方上空を提出二台並びに操縦士(全部)の提供を受けたので張 馮玉祥の得意ぶり

間に依る英支借款の内障左〔東京廿一日發調明〕陸軍

着公電に依れば宋子女の暗

宋子文暗躍に依る

奂支借款內譯

船二隻。計四十萬磅、教育事英國留學生二十名派遣頭信材料費四萬八千磅、諸商島汽船四隻、掲子江用汽十萬磅其他合計四百六十二萬磅交通部電信機の増加、地資部學廣遠道完成の60の公債白二十萬磅材料費白六

側陣地を構築

術の進步、勢励賃銀安等に 近の貿易が敵増せるため乙 を忘却せるものである 日本品の廉價なるは低替 人が全く無統制に各自の競

る。此の結果は商人各自が野により徒に風安を利し役

出統制こそ無胃の急務であるなり、 とは以上の困難に遭遇する をは以上の困難に遭遇する をは以上の困難に遭遇する をは以上の困難に遭遇する をは以上の困難に遭遇する をは以上の困難に遭遇する をはなるを以て斯くの如き は自を豫想し緊急な我認論

ソ聯から飛行機十二台を提供

たよ。明日は端在。二十四で領洲さは非常に縁が深い

氏は師弟關係にあり、可成氏は師弟關係にあり、可敬の治的色彩を帯びてるない政治的色彩を帯びてるない 様な黄氏さは今のさこ

北支職権安定策の重大問題三十六萬の雜色軍の総分は

午前八時四十分ハルピンへ

海外經濟

りたい希望を有してゐる、

さしならう、何欽氏は一切 北支は大體あれで固まるこ 日奉天に向ふこさとならう

七時 在十分時京 十二日午後八時三十分吉林 十二日午後八時三十分吉林 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分ハル 十二日午前八時四十分のル 1000年 1000

なつてゐる、石氏は病氣を理 一行動 は一般より は一般より 由に一切の面骨を避けてゐる のではないかき見 微純の協調の怪奔走す

せたさころーケ月位は養生で急性的のものではない。 石氏の病氣は脳の圓膜炎症

だつた。今回の來願は全然 にハルピン世ー日便加雪) 正 上の浮べる単、大同、利氏の 三砲艦並びに先程進水の恩氏 悪氏、 普民の三砲艇は江岸中 和の確立さ航行保全の目的を

安きに置れることとなる。 ・ 安きに置れることとなる。 て堂々を首を揃へて成女気

堂々處女航行

大同以下五砲艦艇

廿五日艦首を揃へて

る以菓子を安心して買る店 アドアシ

の近点格表でも見られやう。ないこころ、多ろ誘物信暴闘

のに今年は例の水飢饉で見る

方の職骨だ、がこれは産組のらなかつたそうだから約二割

残るのは普通八割方だそう だ。一般に小質されるまで

ある。何にしろ生きものも縁

一高過一 かさの疑ひ

鰻屋さん大痛ごと

はで

中には五割、六割方も死

吉野町

急性胃腸カタ

小沼の陳述深入りで

俄然公開禁止

細菌検査所で検鏡の結果決定

なんと素晴 鰻が賣れる 昨日けんで二百三十貫

に限つて脂つこ、腸の食ばれたか―― ぶんな因果かこの日、皆さん腸を食べられましたか―― ぶんな因果かこの日 いて見るさ 受難で斃死

この日 日本新京に来る砂に見せ二、 一二 日 間に六千四とだ 仕一日は百貫てふご今二十二 らしい景気ではないか…… す は近に多く百三十貫の大量 昨年は各個人が直接産型さの かずフェ下された助定で資れ 取引だつたので適確な数字は るく、この二日間二百三十 わからないが、今年はうんさ しても四千六百人か、これを 65

相場は去年に較べ約二割高

子質の ないのが原因

新京警察副官 新京警察副官 新京警察署警告主任 令村 短八 今村 短八 問中を家人が發見し点に最寄作門日本情通門ナ八番地科亭大和館こま黄道住氏の弟寅成大和館こま黄道健氏の弟寅成大和館こま黄道健氏の弟寅成

賑ふ新京市場 新京特別市会署總督察錄及 新京特別市会署總督 長春縣屬官 未村村 德勒 会署 線 最

効果を收めて二十一日午後四 九日同餐箱除本部出費多大の 方面の示威行車を行ふためず。 京警院隊本幕大尉の指揮す 小合隆方面示威 全華天動金新京庭球軍さの試 他氏衛贈の優勝カラブ甲奪戦 他氏衛贈の優勝カラブ甲奪戦 であるこのにのに対したが かれて会でであったが をから別待されてあるさ

全滅す 天々好匪

琴平丸引渡を

ユーコークに向び飛行を順

アに要求せよ

八角海相の閣議報告

がしたロシア監視船を我が軍 関係、大角衛州より琴平丸を拿 開相の缺略の外は、全閣僚出 開相の缺略の外は、全閣僚出

れたいさ報告し、

正午散智し

の地點に約五十名の組版類來

匪賊約三十名現はれたが、自 の解退した、又同日午後四時 し来つたが、警察隊の手に依

質菌の警観に依り輸送した

し琴牛丸の引

たるを以て外相よりロシアに

節に使人せざること判明し

を報退せしめた。二十日午後会権に接した場立守備除漢何

提氏がハイラル方面に行き不 の整脚を招き應急手書の結果 の整脚を招き應急手書の結果 し悲観の米日数を全たもので の女を連れ来たり間接してる の女を連れ来たり間接してる あす十時から

調べの結果二十一日新京糖額はこさ宮崎彌二郎(九二)は収億こさ宮崎彌二郎(九二)は収無許可で約婦員様の行為を放

奉天對新京庭球戰

益濟寮コ

馬車 に乗せ

科料に處せら

長崎通)ポスト機は米崎太平(フラブト(アラスカ) は一日

洋標準は二十日午後五時半フ アヴンタスの西南カ三百五 かつた、ポスト氏は飛行機 哩のフラブトで墜落したが 氏は幸ひ敬傷だに負は

地着新化録似立の見込が未だ一十二日午前四時二十四分(日本時間二十四分) 気にかける (日本時間二十四分) 気にがある。

金城樓主

替 階 部 着 任 主 任

和河

ルトニイン

世里的

電2

ポスト機は

フラットに墜落 併しポスト氏無事 屈せず二十一日紐育へ飛行

使し得るものさ信せられてる ポスト機 フエアパンクス

よ

接拶に明保賞朋を感訪した 日池田高峰特務の東道で著任 日池田高峰特務の東道で著任

五日回地にて以及び練州線 並びに静泉署さの聯合軍さ 並びに静泉署さの聯合軍さ ある 日聖師の

共に直に廿二日午後七時より 選 命 鑑 定 夕さして鬱滅者を惟す由氏の統京太子堂に於て関連指導の 经定

ラジオ・痛

然の事であるう

かるべしさのこさでこれが国

判断の妙方法の奇。

能に古人

部語 通門

随希對金票 九名全 現大件對金票 「九名名 砂票對金票 「九名名

當る廿三日より五日間 同 お詫びん一部の荷物が税關の手種意外に遅れ止むなく死期致しま 廿九日より十日間 新 室 京

衛生 展開

新 夣 NG アンコーアンシー 二十三日(日曜日)午後二時より 4 N. H. 12 HA 輕いステツブ は縮 気も躍る!!

5

後後 滿洲國情報社會 新京中央通四八(公園院) 森 野 商 有 貨 店 新京 百 貨 店 新京 百 貨 店 貨 店 售 店

滿洲國寫眞畫報 設備兩文 定價五十錢

を主眼刻々起る時事政治、軍事、社會、經濟新興滿洲國の實情認識を容易ならしむる事 民情及び、風物、等を網羅時勢は方に「讀む よりも見る時代!」満洲ごして唯一の贈物、

(3)

第二回委員會は來週水曜日

解副官

新興時代の要求に施じ様さし 前親の事的基調を明かにして

一、皇嗣さアタア

務所社會係、撫順炭坑庶誘

下選手二十名、糖監督森島仁 「大連世一日春間通」全日本

90

書製

日午後三時入港の「シャトル」

一行は二十二日午後四時半 一行は二十二日午後四時半

| 日間大連協和書館にて

は、加地氏は二十二日本社 をおり多野客に對する迷惑を考 ののながでいまた安 をのいまでであると歌をあった。 一方錦屋洗布所では唇 をが多野客に対する迷惑を考 をのいまた安

不混者狩り 西公園の

新京治安維持委員會 幹事會を開催

をはかつてらるさいふ。そこ 四乃至一圓二十銭に費 叫かが担つてゐる

場では勉強して小質値段は從 中配者も各店について一週 b れるわけで、百閒一見に如か りでことにも水受難の痛切かことも死んだ鰻が店頭に山成

で檢鏡の結果本人死亡後の今 誤り)弟傾間鉄耶馬(三八) 帰間氏の病名は損醫即最

ざること判明常もほつさし 初の診断週り急件胃

満博に

(チチスを作一日産組織) 大谷品を出品を出品を出品 黑省から

者の注目引くに足るものがあるを診査なもの多く。充分観覚

線に匪賊襲撃し楽つたが、段を同じふして奉天近郊安華沿

滿洲夏季大學

學を訓講するさ共に華天、研 で講師及び演題の下に夏明大 の講師及び演題の下に夏明大

安東与に於ても夫々認演

全日本學生

相撲聯盟

現

出

選手一行來備

悠々廿六日より開講

大連、奉天、新京、

安東等で

京、●養二国(但し頭瞰社員因みに申込別日は七月世五日

所不定のルンペンであつた 開入四名であるがいづれも住 勝不定守田後次(章)外十名内 のは住 のないがあるがいづれも住 * ないチョン人、ブリヤート人 * 特権司令部が出品する宗倫人 等の鬱疾及び紅槍音、大刀音 達の博覧會に際し黒龍江省各 鹿の月捨、雌統等頗る原始的 中にも参考品さして黒龍江省 官より失々相當出品されたが

市民ホット一安心

小沼の陳述深入りし、公安に 年前九年二十分開廷されたが 年前九年二十分開廷されたが 奉天近郊 現はる

決回も非条開に决定した

-第九回血盟國事件公判-

生。 零時五分別送されたが、

北方釣魚臺彫器に青山好膳 に至らず終った

慶應先勝

製率して眼情破壊を企てたが割率して眼情破壊を企てたが 5A 對實業一回戦 (大連二十一日使物語) 慶雄 (大連二十一日使物語) 慶雄 形で整文で開始されたが、五 私対四で實業先移した、閉転 大特三十五分、球番片脳

伐にあって潰走す

望

滿鐵官公署 滿洲國協和會

土產物

野手が選ぶらしい。もちくしは

を現はした。 が次の中から、

小四郎は答う

向つて難をかけた。

與内別は振り返って、統人

配達は飛行式

電話三三四三番

院長醫學博士

Ξ

井忠

△防臭に防

披は

经明整通品寸

殺防消由皇毒

定指省新内 藥 審 消

11

短には、これだけの決心があつ、短いで……』

お君

太『旅の女、矢切のお君とお傅へ 太『旅の女、矢切のお君とお傅へ

ルを引き寄せてるたっ

に 押入れの

の中で、小四郎は漢中

「お」なおおか来たのか

か、まあ上

と言ふ殿が、與四郎の耳

がいた。 だらぞ、お通り下さい。 だらぞ、お通り下さい。 がに入口の戸を開けた早苗四 がある。 がある。

在 関から與四郎が贈らない気持ち で小さくなつてゐたお君は、奥か出た。 の職を聞いて急に元気 が出た。

食料品

3

は

です。 「女だとて安心は成られぞ…」 小四郎が言ふった。

単ないでする。 単数を使った。

歌きに似た

の中には深い養焼があるらしいせん。お君が訪ねて來たと動門きつばり言ひきる奥四郎の職『何に怪しいもんぢやございまきつばり言ひきる奥四郎の職『何に怪しいもんぢやございま

(四)

合二十二金 幕 末 O 異 火 瀬

聞

なので見つて来た。 なのた小四郎は、野び起音を設いて 変解路の小窓から、差し視い が見音を設いて 関四郎の紀元に坐つて小四郎言つりはあるか?』 おれる婦人のあるべき皆がな『え?』 べた。一人は女らしいぞの心情 人が訪ねて來た。一 一寸衛門様にお食ひしたい事

でいせんのお君が訪れて來たと衛門 ●七赤の人 外敵な ●れ黄の人 内輪に 心にはぐ可らず失物に注意大力の人 運気住なれご安 事起らんさする日親和專一れ黄の人 内輪に順倒なる

り消傷的に處理するが安全 乙さ丁さ亥が吉 り家業大事に怠るな 遠方より幸便来

か、一般の早苗は女だけに、 なな様さしである。 「独者が出ては掘い……」

源が斯う

で、何の、

、何處のお君さまと仰しやるのあの、お君さまと仰しやるの滅がから言ふのだつた。

已き灰き皮、吉



川

舟殿

箭。

内さ丁さ玉が吉 せんさすら日意るべからず三語の人 八郎有利に展開 は之に作ひ離き危険日 日上の引立に依

御旅行者及一

外敵を防ぎて内 さ用右

いのー 節切

中央通十一番地

X二三等船客股備船 門司、神戸 (大阪)行 三大阪商船出机

・病は治らぬの

石

炭

和洋行

新柄陳

列

人荷案內

れても宜敷うムいます 尚申込は小荷物扱所(社 (通濟運輸公司)



查



會御料 席理

大

吉

证信三二五九世

緣談 各 引 **先身元調查** 先信 業調 密探 用調査 内 查 報偵 十餘年前創 金 低 一 新京老松町 鬼 見 見 信 所 絡業廢守 +

午後休齢 意

婦產 人科科

堀

電腦萊町

新京梅ヶ枝町四丁目二番地人院隨時) 圭堂

一鼻咽喉科車 界門

入院隨意

性內 病科 痔疾科 小兒科 モヒ

() 話三七五六番 院

② 村岡吳服店 電話二一二四番

五秒デ出來ル アイスクリーム製造機 す實際に店舗名知 ビール。サイダー。 専加州ナル飲 五秒デ凍ル 新京發賣所 金 泰洋 北滿總代理店 新京祝町二 泰和洋行

荷 品 ラ ラ ラ ライカ用引伸機(ヴァロ コダックナーゲルカメラ 1 1 カ 力 望 D 遠 角 型 力 ズ 新京銀座 (吉野町)

二三九〇沓





は外帯に

見られて居るが演習終了後のお野管演習に参加するもの

と威赫しポルジャ、オノン河の陣地構築並に外蒙

國に洩れる事を極度に恐れて居るものう如 國に洩れる事を極度に恐れて居るものゝ如くでる野鶯演習へ参加せんとして行軍中の赤衛軍の

衛軍チタ發

五十八輛を連ねてダウリヤ

をなし列車監視兵は乘客に顔を窓外

をなし列車監視兵は乘客に顔を窓外に出すと射殺すべしたしく國際列車の窓は外部への通視を防げるが如き装置率には軍隊多數集結し鐵道に於ける警戒は殺氣立つて物里に歸來せる眞井砲兵中佐、板花輕重兵中佐、野添二等里に歸來せる眞井砲兵中佐、板花輕重兵中佐、野添二等

軍隊多數集結

鐵道警戒も殺氣立

北線前組費生業時より今日に

直接交渉で行詰り打朔を希、日本さしては所製代表の

廿一日の理

三條件

し来つたさころの懸儀をも

共同経営上の俳子所動

は此のまし

プレ最氣の影響を受けて

の値上りによる利益金の増配の値上りによる利益の収置に要持有値関導、所有財産をに鑑み銀げの堅実化を計るのに、大概省では此際経済不可能の係裕生じに銀行も砂くな

353

(東京二十二日韓總通) 4

馮軍

の代表が

その代り軍を入れぬやう希望

チタ以東の谷驛に

里國境方面

滅頗る緊張

笛

補洲國側主張の

一ク月休止し九月更に交渉 の可能性ある機楽を用重し

右休暇中期國代表看書記 めるものさ観測されてゐる「討議する事」の三ヶ條を協示して考慮を求り自休止し九月更に交渉」、表間に私的接渉相互連絡をク月休止し九月更に交渉」

インフレ景氣で儲けた銀行

增配

はならぬ

今甲台米

こよりソ俳管理動長の権限擴大

形であつたが北磯綿洸岡側さかの後東京に於ける護波交 しては断じてこの際右の懸案

の理事會に上程し、豊硬に主森田司長の來哈を過さし同日

ゴー、ストップ

にカ針決定。 緊決の際は が対する

陰解の下に賛成さ例或した

祭みの際は右の

會に翻する復谷は俄大な緒點 大使に通識した日英民間協議 ファシマン務相が二十日松平

我提議ご大体一致

品目其他の新提案をも含む

て日印電業者協議會を開催

紐育株式市場 主力及諸株慘落状况

高、間恒等社々長陳伯俊の南山向等替化佛教輸會理事富于 まる十五日来京した北平五春 察哈爾の蒙古王

満洲國編入を懇願 もので既に導執政さも面書外

第二十二期决算報告

八、最低二十一度在、二十三 日北帝のの風舞の雨泉様 天氣と氣温

十一日 - ハルビル替 - 八月九日 - 駅京者二日滞在 奉天管一日潜在 大生十五名二十二日午前 日午前八時來京
日午前八時來京

▲東京商科大學生十三名二十

三日間滯在

宗像金卉氏(哈爾賀武蔵東宗像金卉氏(哈爾賀武蔵東

八月三日

八月六日

所會則)二十二日朝養大連

▲三浦蘇耶氏(吉林省通務廳

人事往來

官を訪問南嶺見事、日本個各 日は大會後執政及武職軍司會 日は大會後執政及武職軍司會 を排ひつつ幇殴してゐる

北鐵第六次交渉は 張するさころあつた

十六日か

その結果如何で日本側から

希望條件を提出か

二日財政部より次の知く建表法に基く産命買上値、産命買上

付き二圓三角一分(畝幣)

大藏省が嚴重監督 若干あり大部分は掘留さなら脱電な検査の結果によれば対

開発休日案 「東京」十二日の本倉間で休 効力を存置すること 全組よりの会科によれば経濟 帝回政府の留保修項る日 全組よりの会科によれば経濟 帝回政府の留保修項る日 を開送しまれば経濟 帝回政府の留保修項る日 を開送しまれば経濟 帝回政府の留保修項る日 の会科によれば経濟 帝回政府の留保修項る日

を求めてゐるが、その後棟 善き網して各方面を画物誌

一宗教一所盟民の規

借方之部

軍部は直ちに一蹴 たい旨を述べ馮玉祥に慎達せる がに何等抵属すべきものでな い旨を述べ馮玉祥に慎達せる 1案を評符會領の最終閉會期級委員會で採擇された無税休

の武力集結を如實に裏掛せるソ聯政府の最近に終る極東へ

同隊の行動注目さる しかして右は外蒙方面に於け

O T B B 撃を退しこさに決し。既に撤

満洲國政府の公布

(人)同七〇则以下

の諸恂を経、二十二日執政のの諸恂を経、二十二日執政の が容れられた第一般に新作を数率の商工會関係よりの希望 ===新舊關稅々率比較對照 (4) 農業機械 母及其の部分品 農業用機械及部分品 発質用機械及部分品 (P)監岩機裁於機試飢機大型抗內酯風機 近用機器

10%

10%

(二) 日本 (三) 日本 (二) 日本 (三) 日本

九八

甲改良種用のもの

ア屋松川のもの を使

大三五

===

SS == *

入の窓を係へられこれが修理

り結王の頻繁さして議州総編 緒王中最有力の呼刷克圖王よ

別號に掲けざるもの建築材料の建筑材料

00

10

9

(4)共"古"及府

0

0

計 1、21.13.7

11111 10%

(ロ)是靴及短靴其他

(二)其徳 岡 一

10

10×

パラフイン、アフクス

祖子,一年

七五

7月二十日

ラフドバルブ

ゲー其他撲魔精練用語 の項なし故に比較不能

を組織して夜間削撃をするこ云上流言が体へられ白素に漂溯風世一日穀調剤」、終近當地には赤末路人が肥誠に

殺害するさ云ふので関係

めて居るがい泊せる領境の有様を如賓に物語って

國境の住民を

モスクワ方面に避難さす

反逆を恐れてか

を困難であるこさか6来るべ 境階近の赤索路人の生活が順

流言傳はり

(4)預削共配毛せざるもの (一)瓦斯又はハマーセライズせざるもの (一)瓦斯又は前あるもの 提書 二九二〇 三九、〇〇 (二) 九、八〇 (二) 元 (三) 元 (二) 元 (元) 元 (二) 元 (元) 元 メリヤス製衣伯(無担宅)靴足役 毛せざるもの 三三・五(二) 軍位は関幣建さす) 三、八五四

(=)

ガライ(二二)の言に依れ

ō %

二九、一五 一二、四六 ○ 五八、五〇 二七、三〇 ○間を超へざる

(中)橋、宋 同 水硬件セメン (二)兵他の製品 10 00

ランシマ・

八日着の豫定

開協會大會の

選集明日はたの通り方型自合型目及建備

旃鐵地方委員

より何れ警察者に帰係者参集 時柔道の部は世六日学後五時 ・

學徒研究團

舊東北大學で結團式學行

謀副長の訓辭蜂谷奉突締領事

職は去る五月末打合せの賃朴職は去る五月末打合せの賃朴

一來京

日本女流飛行家さして有名な

各地總選舉期日割

者の定員は適確に決定されないが、大体現在の定員十四名のほか新たに二名がの豫定で一般に縦斃させるこさになつてゐる、名簿職定のうへならでは被襲撃尽地が事務所ではこれが選撃人名簿作战中で八月二日に確定し、 引付き五日闘斯京の地方委員選撃はいよく 柔る十月一日 施行されるこさに決定したが、新

地方委員選舉

新京は來る十月一日に行ふ

定員は二名増加か

响れの開會式と前後して

満洲國を代表して

けふの開會式に参列

代表さして列語する謝外交師 機長がマす 一般を二十三日より関かれる領 機長は二十

先頭に含らびやな大行連で カフエー女給代表自五十名は カフエー女給代表自五十名は

| 古中 | さいふから に樋港して四日間碇泊してサミニ音台に分乗し巣隊を せるここでからり、なほ旅順をおざく大連を開いたのでは、 ないの大連は物度い最減を滑機か

覚着は各地の物産を嵌く蒐集 関数を持つものあり今次の博

のみにあらざらなり惟ふに將のあり、これ健に肚臓を飾る

メンバー其他具体的打合せを

デ杯インター

國長閉會の辭を述べ午後二時 じ金端及日本に向け於送した年代表の祝辭國員一同の總歌 此の閻拳天政送前では結馮式

大連博覧曾開會式参列のため大連博覧曾開會式参列のため、大連博覧を開発三十分野京政列車で 開會式に参列

に従来の不参者は百人に付五 人に付十人の割である。建設 途上の新京だけに人心が落着 かず住所變更の居出が不充分

の非常警戒

多く酸生する犯罰を未然に助 上するため市内名署を督し二 十三日午前一時三十分から同 四時心管門接護地一番に亘つ で非常警戒を行ふこさになつ てあたが雨天のため中止した

雨で延期

り杉並署に連行留置の上二十 で属天沼一、八八一の自邸よ 次郎(五四)は十六日突加衫 次郎(五四)は十六日突加衫 士ミ交はるに及んでプロ美術氏は震災後京都に移り河上博 日正午神樂坂署に移したか

たが、監呼婦人員約七台名内を近日間に亘り西庚島小事校 て居り、例年に比較して見る不動者六十五名の多きに達し病氣無屈納膺等の事故の爲め 十八日を初日さして二十一日本年度簡関勘呼は旣糧の如く 本年の簡閲點呼の不成績に 點呼執行官も驚く

良大佐も溜息を漏らしてるた 不良なのには點呼続行官の

高家津田青楓氏 留置さる

事變の功勞者

岩下飛行隊長榮轉

時局後援會で記念品寄贈

未教育兵の訓練を 郷軍でやるか

に於ては可破であるが未教育 格に適用して機闘される管で 下手の差が著しく今後は在郷 定であるが本年の點呼収積の単人分質に於て教育を施す録

五月末朴嬢はこの計画電行の音楽京観東軍空場洲砲さの音楽京観東軍空場洲砲されたのでいよく

部州、ハルビン間の飛行をも 行ふ筈である。 右に付鳥田飛行中佐に左の如 明に耳り來んだ者は殆んさるが同様の如く權機して長

のであるが二号飛行士の 質を持つ同職さして

やまつい

彩中い室町小學校の横丁

仮氏!言語々たる熱情を言

▲湖洲の雪子盆の十六日の

はなくてはならぬ者の一人だ

ぞ何るできうしても此

廿五日大正寺で 表あ二十日夜長近した興安様 看動業際長原職四郎氏の葬儀 に二十五日午後四時曜町大正

葬儀四郎氏

緑暦に没領し四百時間に近身を投じて以来鋭重技術の

だかさくやく限りでない知ら良く何んでもかでも否込が太 居る古つはもので非常に

やは何處でごう結末がついてのか多してるたが集して 人ばかり、▲南海の富勇四平ものやら知つてゐるのは御

□、朝拜午前十時十分―十一 □、朝拜午前十時十分―十一 原「十字架の教」で森先生 受(竹森先生) 本基督教會日曜禮拜は左の選 日本基督集會 新原 神座んしより 4ライオンのコヒッモは?何んご罪なお力で る人様にすぐほれるそうだ。 せねば居らぬミック的なあの こ如何なる男性をもチャ の松屋から移動して来

二十三日(日曜日)午後二時より 輕いステツブ 心は躍る 氣も躍る!!

外流鳥人 二千二百キロ 日本人では 初めての長距離 マルムソン二百三十馬カ、青 である。なほ同鑛の使用機は である。なほ同鑛の使用機は である。なほ同鑛の使用機は 京から飛來 ●節約し民間に排下けた土地 こささし之に依つて施設費を こささし之に依つて施設費を の峻峯を越ん 干二百キャの大飛行はこれ 飛行家さして東京、新京間(二輩身の大肚単で、日本人女流

會

京

都市計畫 國都大新京と

学徒研究團を迎へ

公樹、海域、 施順、 建山區 以 類 冠山

天禪に到著した顧洲商業継段に胸闢らせなが6年朝九時季

雙廟子。鄭家店、范家屯。 梅熊岳城、蓋平。蘇家屯。 昌圖

國都建設局長「元

京の教授市街の土地なでは借なさは此の値段ででしまし、向駅の教授市内を商店街及住宅地 は卵の黄味さも言ふべき場所 いましても本質の中心市街例 りましても本質の中心市街例

は雨店街で三割以上七割以内は雨店街で三割以上四割以内されるさは繁に多くの費用とかけをくさもすむこささないがします。

店街で約三大〇平方米(百十 橋かるミ云よ話であります 私共の拂下土地一筆は小賣商 学)は宅地でコニコ〇平力米(百三十三字) 八七〇平力米(百三十三字)八七〇平力米(二百三十三四年)八七〇平力米(二百六十五字)

(仕奉大念配年周三業開)

> 海博御見物の往復には是非御入湯を! 「は一三大特典あり 「とり迎へ馬車賃無料 「とり迎へ馬車賃無料 御旅館熊岳寮 金一圓から 宿泊料(食事付)

夏の砂風呂入湯の

勉o^好期

入湯

IAN IN INT

改正代表 +

本

さをすれば、縣(た)山(れ)

點へそとなって行く

とても狩りいは合せであった。

寝卷 まくかのり

をはじめから用ひないで、

けたりすれば、やつばり でも前が大方あいてみます。 それでころがつたり足をひろ

いつそ掛節側さいふもの

*ピキーションがい

ろくな病氣を引き

中包んでしまふやうなここは い中色んでしまふやうなここは おくがかれ

一个では、タオルは、マオルとでよいで無ひます。コントーのバンフのやうなものをしたものを

3/1

傳染病が 大はやり ま新京に この際お子達の寝冷にを どうして防ぐ?

腎でせ 大人もですが特に子供をもつ親御は此際特に注意新京では赤痢についでチブスが盛んに流行してゐ

ます が肝

*

はのあたりまでさへちやんさい部分、お腹から足の上のもれません、冷やしてはならない部分、お腹から足の上のもいがのあたりまでさへちやんさ のもやうにすぐ得へないのでであるので暑さ寒さを外のも地が理想的ですタオが地にそ

夏は子供に、何べんふこんを かけてやつてもきつこはねの かけてやってもきつこはねの もしてそれが寢冷えのもこに なり、お腹や、のごを悪くし

活れた 玻璃器が 夏の什番さして近年玻璃器が をれだけに玻璃器の汚れたの は明の数か新聞紙が豆腐の粕で贈る は卵の数か新聞紙が豆腐の粕で贈る な入れ、水を加へてよく振動 を入れ、水を加へてよく振動 を入れ、水を加へてよく振動 を入れ、水を加へてよく振動 を入れ、水を加へてよく振動

日射病と熱射病 罹った時の手當は?

を受験文で温度の高いさき、体温を中り」を起して気が強くなったり、倒れたりするのですのったり、他行器官に缺陷ある人なごが同され場いのでする人なごが同され場いのです。 で「窓林の王者」は都會でラガニ系統の三者」は都の当人娘を戀を職くあた明時の自人娘を戀を職くあた明時の自人娘を戀を職くあた明時の自人娘を戀を職くあた。

関したのは賢明だ、物語のはフタにして街頭のスリルを强 の意味に於て無條件で喝采さ 此の映画の全生命は「物苺い」

初日語物豊竹及公本夫、糸鶴澤寛寿△伊賀越松太夫、糸鶴澤寛寿△伊賀越松太夫、糸鶴澤寛寿△伊賀越

牛さ獅子の軍師、サーカスの可憐な少年の猛獣さの共後。 虎き の経費させる カスの **澤綱延△忠臣藏勘平之段。**

追の川、やひ匂の海、もてつなにみ讀おを頁のど、お頭と然渾が分氣の暑避いし凉てしたが憶

コ東小ヒラスシビリン

有り難さ仕合せ今度は、站へ光手が晒った。 はいのではないが白光手が晒った。 ふんだきがあった。 総ち(る)と尖み出して来る。
で、黒(を)由(わ)黒(か)由(よ)となって、黒の三子は出生せればならぬ。
それから、白は「日八十九」と斜走に黒地へ数入した。 それを手抜きをすると、白が

仕事をするこさが出来て船内には電話、神野、モーター等の用器を完備してゐるさ する。長さ二十呎、巾六呎内外

造花は一寸尻込みの間である ・特色して着り出し、此の所 ・大切の花屋では牛花を歌時間 不ら材水工場では一時間に一 スァ日ヒ A ハカギ 4 哲 カララ ステゼ オラエ瞬 ー 四二二十〇二 一 七二一六〇二 一九一一四九二二二二九四五

である。である。である。である。である。である。である。である。である。では、これの様を白へ残して極いた事になる。

では、直接光線には関係なし では、直接光線には関係されるいるのですが、これに は日射病を熱射病をがあります。日射病を熱射病をがありますが、これに ではかりがかがるものですが、熱射病をいる のは、直接光線には関係ない。 たのでは使から、白(に)と附っ、黒「一八十六」と小刹走に打つ

突張る手が疑るから大蛇な相違ったのでは使から、白(に)と附 そうすると、この隔には白地

火災猛獣群の街頭疾闘等人物 海の外から 太大。重忠--行本顧路太天阿豐竹小松太天。岩永--豐竹阳

際し子女在學記念に西廣揚小榜中山武道氏は蘇家屯轉動に や校へ金十圓を寄附 附 病機新京機關原動

くパンフでおさへるかくパンフでおさへるか ろしいこれだけのものをこ ヤスでも、上部はゴムでもので結構です木綿でも も紐なごで駆迫す させ、飲下せるやうになりま か水をかけ、もし顔色が蒼白 なこかは頭部を低くして平臥 の臓部を氷瘊で冷し、顔には

パラマウントト +1

の王者上

トーキー「密林の王者」が トーキー「密林の王者」が いよく、松浦市會の手で近 く長春座で上映される、南 の力に於ける評判を紹介す 來る廿六日長春座

一社会。 のもちに考 別に請慮はかけずさも、子供 もらくに、親も安心してやす

お台所メモ

量竹呂太夫一行 長春座出演

初日の語物は次の題 0 日南日特意中の語物を演する でに申じて来京し、二十四、五 を開へ、富地素森後接音の招 三勇士は掛合にて軍除敗間を

夕新作『三勇士譽れの内彈』中外暇を利用して軍**除慰問旁**文樂県附豊竹呂太夫一行は暑

技さは似もつかぬ素晴らしい導よろしきを得て、脛原の死 ーンではヅブの素人である。 保修者であるここは観客の実 味を唆る一つの材料になる。 リラブは云ほずもがなスクリ 日下雪員の各家庭に使用方を出來る清水で製氷せしむる様 獎勵宣傳中

出來る清水で製氷せしむる機能育市内に在つて約五十萬人の背員を有する市民生活改善を創案分明して各家庭の安心を創業分明して各家庭の安心を創業分別である。 口承庭田製氷器の獎勵

カミ芹の通りである 「箱線人ターザン」の主演者 ライズ・ミュラーが管での米 売水氷界の第一人者であり。 『密林の王者』の主演者バス

連盟な成功を収めた 連盟な成功を収めた 連盟な成功を収めた 連盟な成功を収めた 連盟な成功を収めた 連盟な成功を収めた

不充分なご会は、人工呼吸を て飲ませます。そして呼吸が をきを少しづつ何回にも分け

量の幻想

ロドストエーフスキイ

□經濟國際主義と經濟鎖國

経済會議はどうない。 では、選夫 *(納凉讀物)海 *(夏の短篇)蜜月船で逢った女子に養えが、豊野を持なでも一中河 滅びゆく旅役者の一 *芝居王国にたつ少女、挺身隊「在竹園園が開け」水ノ江龍子 □女は淋し 舞臺から別れる日言語のスタ 橋の心打つ作別なロマンスで小山いと子 文 増 等 話 明今月の書 口內省過多 笑子 與一

停滞せる便も遂に賜の自力で排泄されるに至り、併も下劑の如く危險

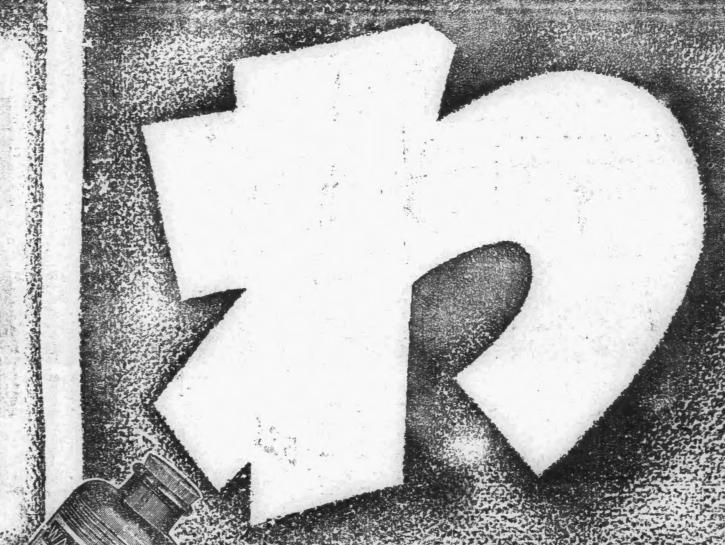
傷の組織細胞を根源から强健にして蠕動を正調するため、

頑固に

膓を刺戟しで一時的に便通をつける對症的作用でな

創作用もなく、

習慣性も絶對に伴はない。」



病原因に作用する酵素劑 樂劑を服川させて豫期の効果が現れなくては、患者の不満はいふ迄

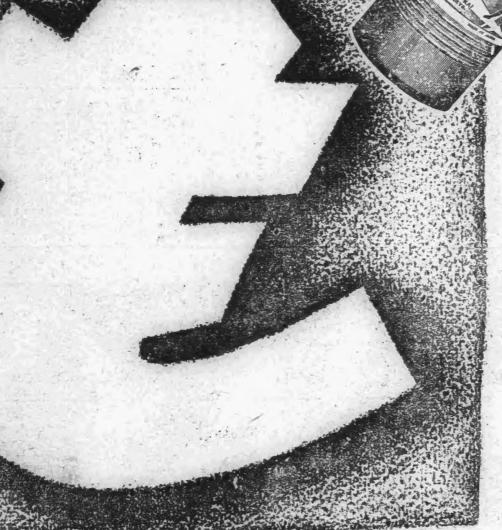
癒する効果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して一時思者を満足させるが、吞酸の原因である胃酸過多症そのものを治

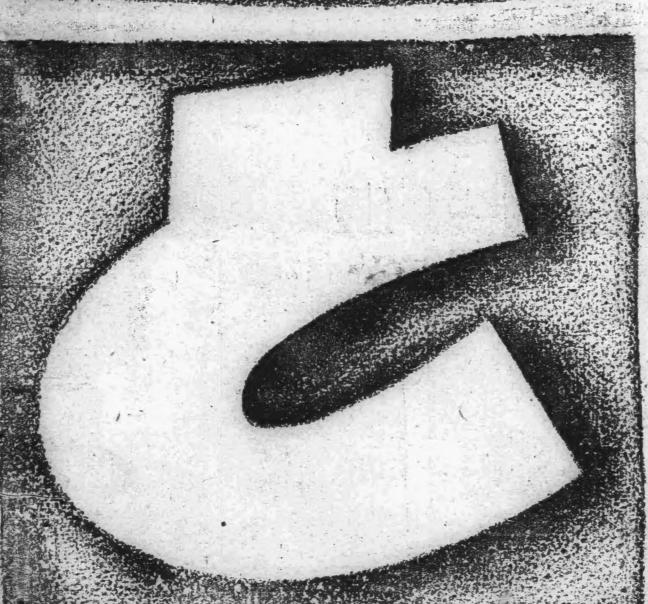
重曹劑を服用させると、胃酸過多症の一症候である吞酸は解消して、

もなく、
醫家としても面目を失する。といつて例へば、
胃酸過多症に

は屢々躊躇する。 薬劑と異り、 病源を治癒する効のない對症薬劑を服用させること 賦活して、健全な機能に更生させる作用が顯著であ とする活性的素剤である。 の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生 烈と異り、先づ胃腐疾患の根源を治癒するを目的然るに「わかもと」は、症候だけを解消する對症 即ち「わかもと」中

る吞酸、胃痛、膨満感等は必然的に解消する。 下垂、胃潰瘍、腸カタール等を根源から治癒に導く、 更に、便秘に於ても、「わかもと」は下剤の様に 斯くして原症が治癒する結果、原症の症候であ 「わかもと」だけで胃酸過多症、胃弱、





一圆六十錢

ある上に、 一日服用させる禁蹇劑の十數倍、

専ら築養の吸収に當らしめるから、三度々々の食餌 即ち、數十瓦、數百瓦の築養素が吸収されるは容易 「わかもと」は、先づその酵素の作用によつて衰弱 た胃膓を健全にし、食欲を増進して、胃腸をして 然るに、單なる榮養劑でなく、酵素栄養劑である 素が補給されるので、單なる榮養劑を服用させて 者効のなかつた慢性胃傷病者、結核、 かもと」を服用せしむれば、能く肉つき、體重を 含水炭素、無機鹽類、各種ヴィタミン等の榮 衰弱を恢復するに至るのである。 脚氣の豫防と治療に卓効あるヴィタミンB 更に「わかもと」中の可溶性の蛋白、

中の豐富なヴィタミンBは、組成中の鐵分との綜合効果が、貧血の治療にも著効あることが立證されたが、

《養劑に優る酵素榮養劑

爲に榮養の吸収が充分に行はれず、たとヘアミノ酸劑の樣な吸収され

毎日僅か數瓦を服用させて稀薄に裝養

易い性質の榮養劑だとしても、

来を補給した位では、衰弱の恢復が捗々しくないのが常然である。

の種の衰弱病者には種々の榮養劑を服用させても胃腐が衰弱してゐる。 ――と 榮養劑を必要とする程の衰弱者は必ず胃腸も衰弱してゐる。 ――と